

広がる”家に置かない暮らし” 都内転居者の約8割が、トランクルームを利用・検討中 利用検討する上で、9割以上が無料シャトルなど運搬サポートを評価

株式会社キュラーズ（本社：東京都品川区、代表取締役：ステイブ・スポン）は、東京都内で進む賃貸物件のコンパクト化を受け、住まいと収納に関する実態調査を実施しました。

近年、住宅価格の高騰や住居面積の縮小により、「0LDK化」など、居住空間を最小限に抑えるライフスタイルも広がっています。「広さより家賃」を優先する住まい選びや、収納不足への不満の高まりを背景に、住空間に収まりきれない荷物を自宅外に移す“家に置かない暮らし”が、新たな生活スタイルとして定着しつつあります。本調査では、都内を中心に高まるトランクルーム需要を踏まえ、新しい暮らし方の実態とトレンドを明らかにします。



【調査サマリー】

- 直近1年以内の都内転居者「広さより家賃」志向が7割超、住まいは“狭く・安く”へ（74.4%）
- 直近1年以内に都内転居した人の約8割がトランクルームを利用・検討（78.7%）
居住空間のコンパクト化が進む都心部を中心に、“家に置かない暮らし”が拡大
- トランクルーム利用検討者の95.3%が運搬サポートを評価、利用拡大のカギに

「広さより家賃」7割超、住まいは“狭く・安く”へ

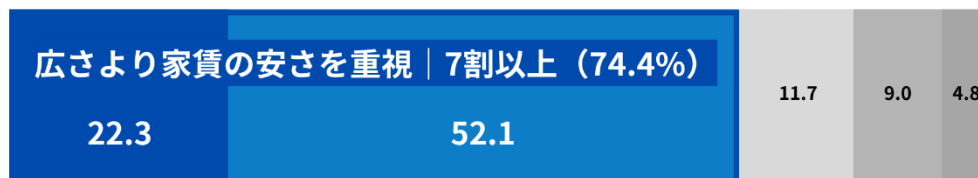
直近1年以内に東京都の賃貸物件（マンション／アパート）に引っ越しを行った20～60代の男女188名を対象に調査したところ、「部屋の広さより家賃の安さを重視したい」と回答した人は74.4%にのぼり、多くの生活者がコストを優先して住まいを選択していることが分かりました。実際に、家賃と手取り月収のバランスについては「20%以上30%未満」が36.7%で最も多く、家賃を一定水準に抑える意識がうかがえます。

Q.家賃と部屋の広さのバランスについて

“広さより家賃を重視”7割超に

SA/N=直近1年以内に東京都の賃貸物件に引っ越しを行なった人（188名）

- 大幅に家賃が安くなるなら小さくてもよい
- ある程度家賃が安くなるなら小さくてもよい
- 家賃が安くなるとしてもあまり広さを変えたくない
- 家賃が安くなるとしても絶対に広さは妥協したくない
- どちらともいえない



©2026 Quraz Ltd.

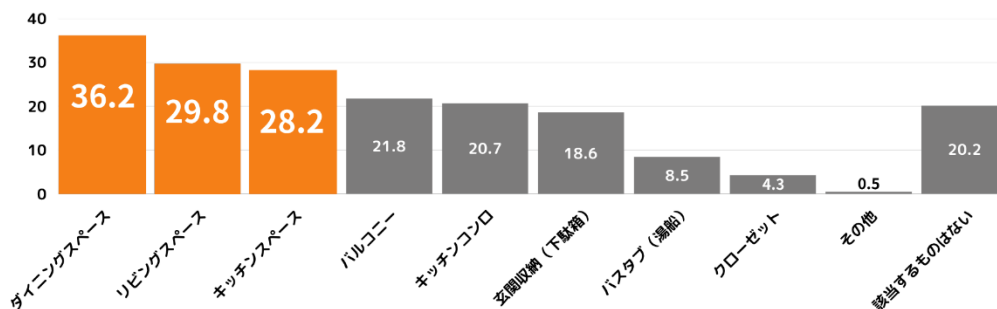
こうした背景から、住宅価格の高騰や住居面積の縮小が進む都心部を中心に、居住空間をコンパクトにする傾向が強まっていると考えられます。現在の住まいにおいて「使用頻度が低い」または「無くてもよい」と感じる設備やスペースを調査したところ、「ダイニング」（36.2%）、「リビング」（29.8%）、「キッチン」（28.2%）が上位に挙がり、住まいに求める機能を絞り込むコンパクト居住志向として“L・D・K レス”の傾向も見られました。

Q.使用頻度が低い／無くてもよいと思う設備やスペースについて

"LDKレス"傾向

TOP3 「ダイニング（36.2%）」、「リビング（29.8%）」、「キッチン（28.2%）」

MA/N=直近1年以内に東京都の賃貸物件に引っ越しを行なった人（188名）

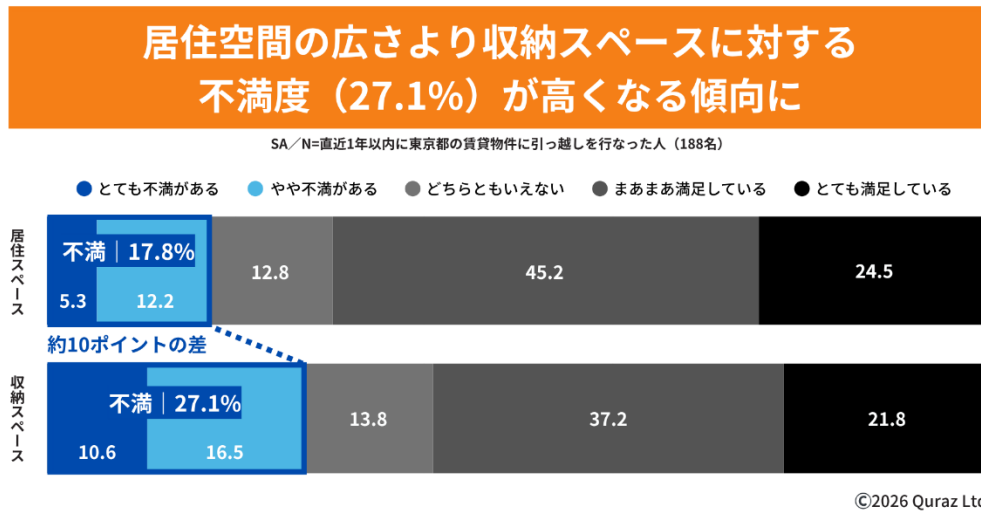


©2026 Quraz Ltd.

トランクルーム利用・検討は約8割、“家に置かない暮らし”が拡大

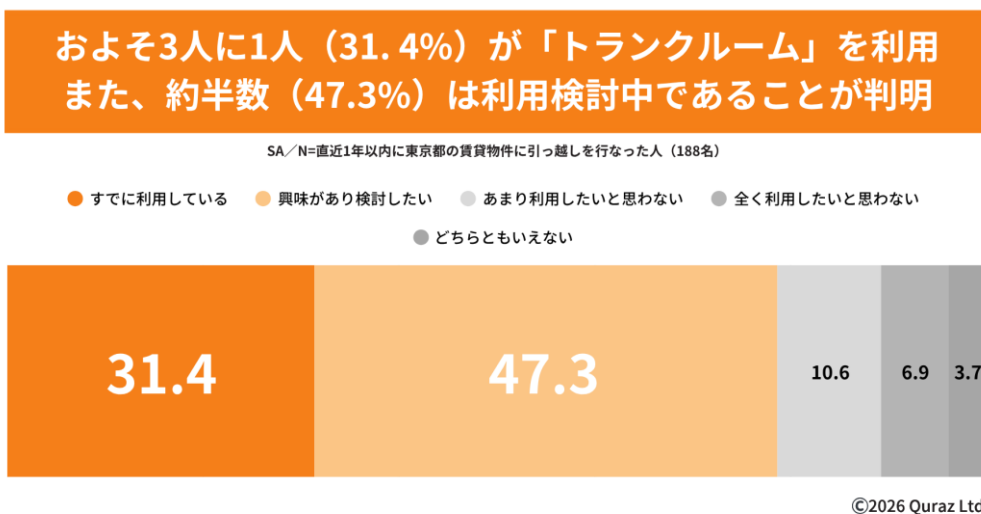
続いて、現在の住まいの「居住スペース」と「収納スペース」に対する満足度を調査。収納スペースに対して2割以上（27.1%）が不満を抱えていることが分かり、居住スペースに対する不満度（17.5%）より10ポイント近く高くなりました。東京都内の賃貸物件居住者において居住環境よりも収納に対して、不満を抱く生活者が多くなる傾向が見られました。

Q.居住・収納スペースに対する満足度について



また、トランクルームの利用状況について調査したところ、直近1年以内に東京都の賃貸物件に引っ越しを行った約3人に1人（31.4%）が【利用中】であり、半数近く（47.3%）が【利用を検討中】であることが分かりました。収納不足を補う手段として、荷物を自宅外に移す“家に置かない暮らし”が広がっていることが推察されます。

Q.トランクルームの利用状況について



利用のキギは“運搬”、9割が荷物の運搬サポートサービスを評価

最後に、トランクルームの利用を検討している人に対し、「荷物の運搬サポートサービスの有無」が利用意向に与える影響について聞いたところ、95.3%が「プラスに働く」と回答しました。トランクルームの利用においては、運搬をサポートするサービスのニーズは非常に高く、利用拡大のキギとなっていることが分かります。都内では車を所有していない世帯も多いほか、引っ越し費用の高騰なども背景に、荷物の運搬負担を軽減できるサービスへの関心が高まっていると考えられます。

Q.荷物の運搬サポートサービスについて

トランクルームの利用の検討材料として、荷物の運搬サポートサービスの有無はプラスに働くと9割以上（95.3%）が回答

SA/N=トランクルームを利用中または利用を検討中と回答した148名

● とてもそう思う ● まあまあそう思う ● どちらでもない ● あまりそう思わない ● 全くそう思わない



©2026 Quraz Ltd.

【調査概要】

※本調査結果をご利用の場合は、「キュラーズ調べ」のクレジット表記をお願いいたします。

- ・ 調査対象：直近1年以内に東京都の賃貸物件（マンション／アパート）に引っ越しを行った20～60代の男性・女性（188名）
- ・ 調査期間：2026年3月23日（月）～3月29日（日）
- ・ 調査方法：インターネット調査

■キュラーズについて

キュラーズは、全国71店舗、41,000室を展開する日本最大級のトランクルームです。質の高いトランクルームサービスやお客様本位の取り組みが認められ、様々な調査においてキュラーズが提供するサービスを評価いただき、2001年の創業以来のべ18万人以上のお客様にご利用いただいております。高まる収納ニーズを背景に、都心部を中心とした高品質トランクルームの出店を強化しています。

キュラーズ HP：<https://www.quraz.com/>

・荷物運搬に便利なキュラーズの無料シャトル

キュラーズは、トランクルームまで無料で運ぶシャトルサービスを提供しています。車がなくて荷物を運べない方でも、ご自宅までシャトルバスがお迎えにあがります。また、自宅やオフィス、外出先などから、スマホ1つで荷物の収納+取り出しが完結できる宅配サポートも提供しており、必要なモノを手軽に出し入れすることができます。

cf.) [キュラーズ無料シャトル](#)、[キュラーズ宅配サポート](#)



・株式会社キュラーズ 代表取締役 スティーブ・スポーン



2009年に来日し、屋内型トランクルーム最大手である株式会社キュラーズの代表取締役に就任。急成長を遂げたトランクルーム市場において、先進的な運営手法で注目を集め、新聞・テレビ等の各種メディアに多数出演。また、米国セルフストレージ団体主催のExpoにて講演を行うなど世界的なトランクルームサービスの普及・促進へ向け精力的に活動を行っている。

■会社概要

名称 : 株式会社キュラーズ
本社所在地 : 〒141-0032 東京都品川区大崎 3-5-2
連絡先 : Tel: 03-4563-1500
代表取締役 : スティーブ・スポーン
従業員数 : 195名 (2026年1月現在)
創業 : 2001年8月2日